



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社 サンユウ

上場取引所 東

コード番号 5697 URL <http://www.sanyu-cfs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西野淳二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 加藤和彦

TEL 072-858-1251

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,220	10.8	218	72.5	240	72.0	336	280.1
29年3月期第2四半期	7,417	3.7	126	66.1	139	47.1	88	57.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 337百万円 (280.4%) 29年3月期第2四半期 88百万円 (57.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	55.64	
29年3月期第2四半期	14.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	13,905	7,581	54.5	1,254.23
29年3月期	13,926	7,286	52.3	1,205.45

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,581百万円 29年3月期 7,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		7.00	7.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	8.4	360	23.2	390	24.7	430	120.7	71.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正に関する詳細につきましては、本日(11月2日)公表の「平成30年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社サンユウ九州

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,091,000 株	29年3月期	6,091,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	46,450 株	29年3月期	46,370 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,044,610 株	29年3月期2Q	6,044,630 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載された予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の政策動向や中東の地政学的リスクなどの懸念要因があったものの、日本政府による各種政策や好調な企業業績により、設備投資や雇用環境の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調が続きました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界におきましては、主要需要家である自動車業界の生産活動は、前年度下半期から引き続き堅調に推移いたしました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保に取り組みました。

販売面では、既存の顧客に対するきめ細かな営業活動に加え、新規取引先の開拓により販売数量の拡大に取り組んだ結果、販売数量は56千トンとなり、売上高は8,220百万円（前年同四半期比10.8%増）と増収となりました。

損益につきましては、材料（鋼材）価格値上げの影響があったものの、製品価格への転嫁及び販売数量の拡大、併せて固定費を始めとするコスト削減等により、営業利益は218百万円（前年同四半期比72.5%増）、経常利益は240百万円（前年同四半期比72.0%増）となりました。また、平成29年4月1日付で完全子会社の株式会社サンユウ九州を吸収合併したことによる繰延税金資産の計上に伴い税効果適用後の税金費用が軽減したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は336百万円（前年同四半期比280.1%増）と増益となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は31千トン、売上高は5,151百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量は25千トン、売上高は3,069百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は13,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が97百万円増加したものの、現金及び預金が74百万円、減価償却等により有形固定資産が71百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は6,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ316百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が273百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は7,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ294百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、994百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は334百万円（前年同四半期比95百万円の収入減）となりました。これは主に、売上債権が97百万円増加したことや退職給付に係る負債が52百万円減少したことにより資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益235百万円や減価償却費226百万円の計上により資金が増加したことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は286百万円（前年同四半期比30百万円の使用増）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得により資金が減少したことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は122百万円（前年同四半期比89百万円の使用増）となりました。これは主に、新たな短期借入が200百万円ありましたが、長期借入金の返済273百万円や配当金の支払42百万円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、通期連結業績予想について修正いたしました。

詳細につきましては、本日(11月2日)公表いたしました「平成30年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,068,549	994,295
受取手形及び売掛金	4,509,519	4,606,949
商品及び製品	1,577,228	1,607,060
仕掛品	188,627	196,000
原材料及び貯蔵品	1,200,656	1,166,616
繰延税金資産	79,157	79,293
その他	205,436	190,988
貸倒引当金	△38,082	△40,243
流動資産合計	8,791,092	8,800,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,510,830	1,492,369
機械装置及び運搬具（純額）	1,576,910	1,540,768
土地	1,448,032	1,448,032
リース資産（純額）	53,975	56,214
建設仮勘定	19,058	9,925
その他（純額）	82,025	72,137
有形固定資産合計	4,690,833	4,619,447
無形固定資産		
その他	102,530	95,942
無形固定資産合計	102,530	95,942
投資その他の資産		
投資有価証券	72,952	74,071
出資金	184,629	184,629
長期貸付金	69,666	58,574
繰延税金資産	—	58,112
その他	15,747	13,853
貸倒引当金	△500	—
投資その他の資産合計	342,495	389,240
固定資産合計	5,135,859	5,104,631
資産合計	13,926,951	13,905,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,249,806	4,309,266
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	501,200	437,500
リース債務	14,686	12,291
未払法人税等	60,705	45,972
賞与引当金	136,336	134,326
その他	560,402	373,089
流動負債合計	5,523,136	5,512,447
固定負債		
長期借入金	830,000	620,000
リース債務	42,469	47,373
繰延税金負債	79,821	—
退職給付に係る負債	127,669	75,373
資産除去債務	37,023	68,798
その他	360	360
固定負債合計	1,117,343	811,904
負債合計	6,640,480	6,324,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,318,057	1,318,057
利益剰余金	4,472,119	4,766,148
自己株式	△21,331	△21,367
株主資本合計	7,282,533	7,576,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,938	4,714
その他の包括利益累計額合計	3,938	4,714
純資産合計	7,286,471	7,581,240
負債純資産合計	13,926,951	13,905,593

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
売上高	7,417,052	8,220,324
売上原価	6,354,089	7,086,108
売上総利益	1,062,962	1,134,215
販売費及び一般管理費		
運搬費	253,335	265,011
給料及び手当	234,285	237,159
賞与引当金繰入額	59,656	57,086
退職給付費用	16,398	9,785
減価償却費	35,286	35,352
その他	337,269	311,184
販売費及び一般管理費合計	936,231	915,579
営業利益	126,731	218,635
営業外収益		
受取利息	567	553
受取配当金	6,308	5,062
受取賃貸料	14,687	16,163
その他	4,081	9,389
営業外収益合計	25,645	31,168
営業外費用		
支払利息	5,206	3,253
賃貸費用	6,376	5,748
その他	1,149	589
営業外費用合計	12,733	9,591
経常利益	139,644	240,212
特別利益		
固定資産売却益	1,326	—
補助金収入	10,000	—
特別利益合計	11,326	—
特別損失		
固定資産売却損	—	4,269
固定資産除却損	3,932	205
固定資産圧縮損	10,000	—
特別損失合計	13,932	4,475
税金等調整前四半期純利益	137,037	235,737
法人税、住民税及び事業税	48,312	37,809
法人税等調整額	239	△138,412
法人税等合計	48,551	△100,603
四半期純利益	88,486	336,340
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,486	336,340

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	88,486	336,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	776
その他の包括利益合計	132	776
四半期包括利益	88,618	337,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,618	337,117
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,037	235,737
減価償却費	225,318	226,797
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6,636	△52,296
受取利息及び受取配当金	△6,876	△5,616
支払利息	5,206	3,253
補助金収入	△10,000	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,326	4,269
固定資産圧縮損	10,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	125,310	△97,430
たな卸資産の増減額 (△は増加)	265,547	△3,165
仕入債務の増減額 (△は減少)	△288,029	63,965
その他の負債の増減額 (△は減少)	5,753	14,094
その他	376	△10,409
小計	461,682	379,200
利息及び配当金の受取額	7,369	5,667
利息の支払額	△5,043	△2,149
法人税等の支払額	△35,511	△48,141
法人税等の還付額	1,853	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,350	334,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△245,708	△202,106
無形固定資産の取得による支出	—	△96,727
有形固定資産の売却による収入	1,361	212
投資有価証券の取得による支出	△25,372	—
補助金の受取額	10,000	—
貸付けによる支出	—	△300
貸付金の回収による収入	1,607	11,692
ゴルフ会員権の売却による収入	2,400	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,712	△286,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	200,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△396,600	△273,700
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,254	△6,832
自己株式の取得による支出	—	△35
配当金の支払額	△30,169	△42,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,023	△122,801
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	141,613	△74,254
現金及び現金同等物の期首残高	852,896	1,068,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	994,510	994,295

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった株式会社サンユウ九州は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、同社は当社の特定子会社に該当しないこととなり、連結の範囲から除外しております。